

1. 基本方針

義務教育は生涯学習の基礎を確立するものであり、そこでは徳・知・体の調和のとれた教育活動が期待される。潜在する児童一人一人の能力や個性をさまざまな教育活動を通して触発し、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための基礎的・基本的な内容の習得を図るとともに、児童自らが主体的に学ぶ意志や態度、能力の育成を志向した教育実践に努める。

そして、いのちの教育を基盤に生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を図り、個を生かし夢を育んでいきたい。

今年度は学力の向上に取り組みたい。学校目標を「目指せ！みなみっ子」として、望ましい学習態度や生活態度を身につけさせ、授業の基本形を問題解決的な学習とし、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に取り組んでいきたい。

2. めざす学校像

～温かさと活力に満ち充実した学校生活を過ごせる学校～

「まず子どもがいる」ことを忘れてはならない。学校は子どもたちのためにある。全教職員で子ども一人一人を育てるという自覚と責任をもって教育活動にあたりたい。

さらに、子どもを育てることによってのみ、家庭や地域社会からの信頼を得られることを忘れることなく、熱意と創意を結集して教育活動にあたり、温かさと活力に満ちた学校づくりに努める。

また、子どもたちが充実した学校生活を過ごせる学校にしていきたい。めあてに向かって取り組む、勉強が分かる、運動ができる、やること(仕事)がある、がんばれば認めてくれる、友だちと仲良くできているなどを子ども一人一人が実感できるような学校づくりに努める。

3. 教育目標

(1) 校訓(建学の精神)

- 「友情」……大自然の恵みの中で、温かく心をかよい合わせ、日常の生活に潤いと喜びを分かち合っていく。
- 「健康」……大きなエネルギーに満ちた太陽のもとで、心身とも健康な体をつくろうとがんばる。

(2) 教育目標

- 豊かな心をもち、主体的に活動する子

(3) 努力目標

- 思いやりのある子 ○体をじょうぶにする子 ○進んで学習する子

4. めざす子どもの姿

(1) 思いやりのある子

- ①心やわらかに、自分と異なる意見や立場を尊重する子
- ②明るく礼儀正しい子
- ③進んで協力する子

(2) 体をじょうぶにする子

- ①目標に向かって根気強く運動する子
- ②きまりを守り仲良く運動する子
- ③安全と健康に気をつける子

(3) 進んで学習する子

- ①積極的に質問し、進んで発表する子
- ②学習態度を身に付けた子
- ③問題解決に意欲的に取り組む子

5. めざす教職員の姿

- (1) 子ども、保護者、地域に信頼される教職員
- (2) 子どもとのふれあいを大切にし、児童理解に努める教職員
- (3) 認める、ほめる、励ますを基盤とし、子どもを育てる教職員
- (4) 前向きに取り組む教職員
- (5) バランスのとれた思考を基に行動する教職員
- (6) 自らの資質の向上に努める教職員

6. 重点事項

(1) 思いやりのある児童の育成

- ①学校目標を「目指せ！みなみっ子」とし、望ましい学習・生活態度の育成を図る。
- ②「いのちの教育」を基底に、道徳教育と生徒指導の充実を図る。
- ③教育・生活・言語環境の整備を推進する。

- (2) よりよい人間関係づくりができる児童の育成
- ① 支持的な風土に満ちた学級経営，自己有用感を育む学級経営に努める。
 - ② 異年齢集団活動を推進し，よりよい人間関係づくりができる場の充実を図る。
 - ③ 学校行事・児童会活動の充実を図り，自主的・実践的な態度の育成を図る。
- (3) 体力づくり・健康づくりに励む児童の育成
- ① 運動の継続的な実践を通して，体力の向上を図る。
 - ② 給食・食育・歯磨き・姿勢指導等の指導を通して，健康に気をつける態度の育成を図る。
 - ③ 家庭と連携した疾病治療の徹底を図る。
- (4) 問題解決能力が身についた児童の育成
- ① 問題解決的な学習を通して，「できた・わかった・身についた」が実感できる授業に努める。
 - ② 繰り返し指導や補充指導を行い，基礎的・基本的な知識・技能の定着に努める。
 - ③ 少人数指導など指導体制を工夫し，基礎学力の向上に努める。
 - ④ 児童が課題などを選択する機会を設け，主体的に取り組む態度の育成に努める。
- (5) 各教育活動の充実
- ① **道徳教育の充実**
 - ・ 道徳性の育成につながる体験活動の充実に努める。
 - ・ 読書活動を推進し，豊かな心を育てる。
 - ・ 参観日での道徳の授業等を通して，道徳教育に対する保護者の理解と啓蒙を図る。
 - ② **総合的な学習の時間の充実**
 - ・ 探究的な学習を通して，問題解決能力の育成に努める。
 - ・ 人や自然，地域と関わる体験活動を通して，主体的に取り組む態度の育成に努める。
 - ③ **生徒指導の充実**
 - ・ いじめなどの問題行動の防止や早期発見，早期対応など積極的な生徒指導に努める。
 - ・ 一人一人の子どもによさを見出し，活躍の場を設けて自己有用感を育む。
 - ・ 指導内容の共通理解を図り，学年朝会の場合を通して一貫した指導に努める。
 - ④ **キャリア教育の推進**
 - ・ 学校生活全般を通して，希望や目標をもって生きる態度の育成に努める。
 - ・ 各教科，道徳，特別活動，総合的な学習の時間にキャリア教育に関わる授業を実施する。
 - ⑤ **特別支援教育の充実**
 - ・ 特別支援教育体制を作り，適切な指導や支援に努める。
 - ・ 児童についての情報交換を密にし，共通理解に努める。
 - ⑥ **環境教育の推進**
 - ・ 体験活動等を通して，地域の環境に対する関心や理解を深める。
 - ・ 4年生でホタル学習を中心として，環境保全学習に取り組む。
 - ⑦ **国際化に対応する教育の推進**
 - ・ 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育を推進する。
 - ・ 言語活動の工夫等による外国語を通じたコミュニケーション能力の育成に努める。
 - ⑧ **情報化に対応する教育の推進**
 - ・ コンピュータの活用による情報活用能力の育成に努める。
 - ・ 5年生と6年生で情報モラル教育を実施する。
 - ⑨ **研修の充実**
 - ・ 研修の日常化を目指し，学習指導の改善に努める。
 - ・ 学校課題解決のための実践的研究の推進に努める。
 - ⑩ **家庭，地域社会との連携**
 - ・ 地域の教育資源や学習環境を活用した教育活動を通して，「共育」の推進に努める。
 - ・ 近隣の幼稚園や保育園，小中学校，関係機関との連携を深め，児童の健全育成を図る。
 - ⑪ **安全指導，安全体制の充実**
 - ・ 危機管理体制を整備し，児童の安全確保を万全にする。
 - ・ 防災テキストを活用して安全指導を推し進め，安全に対する意識や態度の育成に努める。